

# くすのき

横浜市立西本郷中学校  
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1  
Tel 045-892-1911

第5号 令和5年8月29日

## 熱い夏休み ~ 笑顔は副作用のない薬 ~

校長 廣淵徹志

全国各地で猛暑が続く中、今年の夏は西本中部活動と女子サッカーワールドカップの活躍、男子バレーボールネーションズリーグで銅メダルを獲得した日本選手の活躍等に大きな感動をもらいました。また、その他にも世界水泳や世界陸上、バスケットボールワールドカップ、秋にはラグビーワールドカップが開催され、多くの国民に感動を与えてくれることでしょう。

来年はフランスのパリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。そのような中、パラリンピックカヌーの瀬立モニカ選手がモットーにしている「笑顔は副作用のない薬」という言葉が心に響きました。

モニカ選手は体育の授業で倒立から前転をしようとして、バランスを崩して首から落ち、入院中に、脊髄損傷で一生歩けなくなるという宣告を受けました。今までの生活が一変して、自分自身は何も変わってないのに、車いすになったことで社会から取り残されているような気分になってしまったそうです。そのような時に母親からの「笑顔は副作用のない薬」という言葉に救われたと言っています。実際に競技生活において笑顔でいてよかったと思う瞬間は、海外選手と交流しているとき、ムスツとしていても会話は生まれません。ネットワークが広がると、自分の選手としての可能性も広がっていくような気がしますとの言葉も胸を打ちます。

彼女を見て、パラアスリートを「かわいそう」から「かっこいい」って思う人が増えたように、彼女はこれからももっともっと活躍して、若い世代を中心に、「共生社会」を考えるきっかけが増えればいいなと考えているそうです。また、大学で体育学系の学部に通いながら今、大学と並行して医学部受験の予備校に通っています。それは自分が障がいを負った時に支えになってくれた病院の先生のように、誰かの支えになりたいと考えたからです。競技と勉強どちらもこなすことは難しいでしょうが、「かっこいい！女性、パラアスリート、医者」を目指して頑張りたいものです。

最近、ふと思うのが、高校野球やインターハイ、世界選手権、ワールドカップ等を見ると試合後に選手の笑顔が多く見られるようになったことに気付かされました。生徒の皆さんも限られた環境の中で、準備をし、悔いなく笑顔で、夏の大会を終えることができたでしょうか？

市総合体育大会、県総合体育大会、そして文化部のコンクール、発表大会等、出来るだけ多くの部活動の試合やコンクール等に足を運び、一生懸命日頃の練習で培った自分たちの力を発揮しようと頑張る姿を見て感動しました。

**君たちは部活動で多くのものを学び、一回りも二回りも成長した。目に見えない財産です！  
笑顔で今後の学校生活に活かしましょう！**

サッカー部 県大会出場！  
選手・顧問・保護者等



かんだう

かいさい

ひび

とうりつ

くず

にゅう

いんちゅう

せきずいそんしょう

せんこく

いっぺん

なにか

きぶん

すく

きょうぎ

しゅんかん

こうりゅう

かのうせい

せかいせんしゅけん

えがお

きづ

そうごうたいいくたいかい

お

つちか

がんば

かんだう

# 西本中の部活動結果



祝 水泳競技部 徳永結哉さん 関東大会出場

男子 200m平泳ぎ 2' 29" 96

男子 100m平泳ぎ 1' 10" 46

東京都

祝 陸上競技部 鈴木 桃さん 神奈川県選抜陸上競技大会 第7位

女子四種競技 2080 点

祝 サッカー部 神奈川県総合体育大会出場 ｽﾞｽﾄ 16

西本郷中 1回戦 1 - 1 相模原市立大野南中

PK 7 - 6

2回戦 1 - 2 海老名市立今泉中



祝 卓球部 山之内煌さん (ｽﾞｽﾄ 16) 沖原聡祐さん

神奈川県総合体育大会出場

祝 男子ソフトテニス部 神奈川県総合体育大会出場

男子個人戦 日力郁哉・伊藤悠真ペア 1回戦 2 - 4



祝 吹奏楽部 第72回神奈川県吹奏楽コンクール 銀賞!



7月28日(金)神奈川県民ホールにおいて、第24回横浜吹奏楽コンクールA部門が開催され、本校の吹奏楽部が見事、金賞を獲得しました。

当日、課題曲『レトロ』と自由曲『歌劇「イーゴリ公」より ポーロヴェツの娘達の踊り、ポーロヴェツ人の踊りと合唱』を見事な演奏で、感動を与えてくれました。

また、8月8日(火)横須賀芸術劇場において、第72回神奈川県吹奏楽コンクールに進出し、横浜地区大会以上の素晴らしい演奏を響かせ、多くの入場者に西本郷中吹奏楽部の魅力を感じてもらったと思います。50人以下の編成A部門に出場し、32人という少なさにもかかわらず、一

つの目標に向かって、全員がたゆまぬ努力と一つの曲を創り上げようと協力してきた「銀賞」に拍手を贈りたいと思います。



## 吹奏楽コンクールの「A部門」と「B部門」の違い

「A部門」 : 全日本吹奏楽コンクールにつながる! 課題曲と自由曲の2曲を12分以内で演奏。50人以下の編成

「B部門」 : 東日本吹奏楽大会につながる! 自由曲のみを7分以内で演奏 30人以下の編成

## 第32回 横浜市中学校演劇発表会中部地区大会 演劇部 優秀賞!

7月27・28日に泉公会堂において第32回横浜市中学校演劇発表会中部地区大会が開催されました。

本校演劇部は、題名『厄介な紙切れ』(大島昭彦 作)という劇を演じました。

放課後、教室でテスト勉強をする各グループ。翌日のテストの復習プリントをもらいにいった生徒。そこに今年のテスト問題が混ざっていた。そのテスト用紙に翻弄される8人の物語。そこに生徒達の真の姿が見えてくる。素晴らしい内容で優秀賞を獲得しました。



## 囲碁部



横浜市中学校囲碁選手権大会 第3位

(石川鈴・今田智久・豊島彩愛)



# — 神奈川県中学校総合体育大会 結果 —

**陸上競技部** 神奈川県選抜陸上競技大会 鈴木 桃さん 四種競技 第7位 2080点  
 神奈川県通信陸上競技大会 小松 優衣さん 100mH 16" 22 (自己ベスト)

**卓球部** 男子個人 山之内煌さん (市総体 第2位)

1回戦 3-0 伊勢原中 (県央地区) 2回戦 3-0 大野北中 (相模原地区)  
 3回戦 3-0 寒川中 (県央地区) 4回戦 0-3 岩崎中 (横浜地区)

男子個人 沖原聡祐さん (市総体 ベスト32)  
 1回戦 2-3 平塚中等中 (県央地区)



**水泳競技部** 武田 天音さん 100m自由形 1' 02" 73 第5位

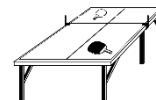
全国関東中学校水泳競技大会 神奈川県予選会

徳永 結哉さん 200m平泳ぎ 第3位 100m平泳ぎ 第7位 (関東大会出場)  
 武田 天音さん 100m自由形 出場 50m自由形 出場  
 武田 美空さん 100m自由形 出場 100m背泳ぎ 出場

# — 横浜市総合体育大会 結果 —

**サッカー部** 横浜市総合体育大会 第12位  
 3回戦 2-1 瀬谷中 4回戦 2-0 六浦中  
 5回戦 0-1 十日市場中 県代表決 2-1 すずき野中

**男子卓球部** 男子団体決勝トーナメント 横浜市総合体育大会  
 1回戦 2-3 サレジオ学院中



**女子卓球部** 女子団体決勝トーナメント 横浜市総合体育大会  
 1回戦 2-3 南が丘中

**男子バスケットボール部** 1回戦 151-19 並木中 2回戦 55-60 舞岡中

**女子バスケットボール部** 2回戦 94-21 日野南中 3回戦 20-92 金沢中

**野球部 (上郷中との合同)** 2回戦 1-2 共進中

**男子ソフトテニス部** 2回戦 2-1 原中 3回戦 1-2 東山田中

**女子ソフトテニス部** 1回戦 1-2 六浦中

**女子剣道部** 第6ブロック予選 ベスト8 区大会 優勝  
 女子団体決勝トーナメント 1回戦 0-1 山手学院中

**水泳競技部** 徳永 結哉さん 200m平泳ぎ 2' 27" 68 第1位  
 武田 美空さん 100m背泳ぎ 第4位  
 武田 天音さん 100m自由形 第7位

～保護者・地域の皆様、ご声援・ご協力ありがとうございました!～

## 横浜市中学校英語弁論大会予選会

7月26日(水)「横浜市中学校英語弁論大会予選会」が実施され、本校からは学校代表として「鈴木 桃さん」(3-3)が参加しました。その素晴らしいスピーチ原稿を掲載します。



### The reason I can run

私が走り続ける理由

Nishihongo Junior High School

Momo Suzuki 鈴木 桃

My name is Momo Suzuki. I am a runner. I am a member of the track and field club. I started in first grade. Since then I have always wanted to be the fastest, just like my senior who inspired me. I want to be like her. A good leader and a fast runner. So I thought how can I become a good leader? In second grade; I started to write practice notes, I made the training diary practice schedule for the club and gave my advice to younger members. Day by day I started to feel like I was becoming the leader I have always wanted to be, as a runner I was growing in confidence.

Now in third grade I wanted to run in the Kanagawa prefecture tournament. I continued to train. Then one day when I was practicing hurdles, I fell and broke my right foot. I couldn't run anymore. I was shocked and worried. How can I be the fastest runner if I can't even run? How can I be a leader if I can't join my teammates? Then I realized my foot may be broken but I would not be so fragile. I would not give up. While I was injured I continued to practice. I would do stretches at home. It was not easy. I became anxious I could not heal and felt negative because I could not run. But I was not alone. My friends, coaches and family encouraged me to carry on. My coach gave me special exercises and I slowly improved. My friends gave me advice and I listened to them. My mother woke up early and made lunch for me. I was glad and eventually, I could run again.

Finally I could run and I was able to win in the Kanagawa prefecture tournament. It was thanks to the people who supported me. I thanked everyone. To be a good leader and a fast runner it was not only thanks to the things I did each day but also thanks to the people who supported me. So don't forget to look around you and show thanks to the people who help you and support you. For me these people are the reason I can run. Thank you.

陸上競技部の活動に熱心に取り組んでいた私は、思わぬケガで走れない時期がありました。そのケガを通して感じたこと、学んだこと、そしてそこから生まれた感謝の気持ち。その思いとともに、今また走っています。



# よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区大会

6月29日(木)「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト栄区審査会」が実施され、本校からは学校代表として「水谷春音さん」(3-1)が参加しました。その素晴らしいスピーチを掲載します。

## ～ 大根の葉をイメージして ～

西本郷中学校 水谷春音

「大根のヘタから葉が生えてきている。」一週間前、料理して出た大根のヘタを水に浮かべると、ある日大根のヘタから新しい葉が生えてきました。人参やキャベツの芯からも。普段は捨てる野菜のヘタからまた葉が生えてくることを目の当たりにして、私はとても衝撃的でした。私はまた再生して食べることができる野菜の生命を今まで知らずに捨ててしまっていたのです。何てもったいないことをしていたのでしょうか。私はそれ以来料理をすると、この野菜くずはまだ生きているのかも、青々とした葉がまた生えてくるかもとイメージするようになりました。

今世界では8億2800万人の人達が飢餓に苦しんでいます。これは世界の人口の9人に一人に当たります。私のクラスは33人いますが、その中の4人のクラスメイトが食事を摂ることができず、苦しんでいることとなります。もし私がその4人の中の一人だったら、お腹がすいて勉強も部活もやる気が出ず、友達と話す元気もなく、笑うことも忘れてしまうと思います。食事を摂るということは単に体の健康だけでなく、その人の生活の全てに関係していると思います。飢餓をゼロに近づければ健康はもちろん、人々の心も満たされ飢餓の問題だけではなく、教育や社会開発にも好影響を与え、SDGs全体の達成に近づけるのではないのでしょうか。SDGsの取組はまず人々の心と体の健康からであると思います。では、どうやったら飢餓を減らせるのでしょうか。

私は昨年家庭科の授業でどうすれば環境に優しい料理を作ることができるのかを学びました。その授業を通して、野菜の皮は捨てずに料理に使ったり、出汁を取った昆布を煮物に再利用できることを知り日常生活に活かすようになりました。しかし、こんなことで食品ロスをなくせるのだろうかと正直思っていました。ですが、野菜くずの再利用のように先をイメージすることで考え方が変わりました。野菜くずを美味しく食べると生ゴミが減り、ゴミを燃やすエネルギーも減らせます。また、お店で賞味期限が近いものから買えば破棄する食品を減らせます。

私たち中学生が今すぐ「世界の飢餓をゼロにする」のは難しいです。しかし、一人ひとりが自分ができる小さな行動を確実に行えば、世界は少しずつ変わるのではないのでしょうか。私は、「自分が何かをやっても変わらない」と思うのではなく、困っている人をイメージして、変わっていく地球をイメージして行動したいです。大根のヘタがまた青々とした葉を生やすように、心が弾むような地球の明日をイメージして。

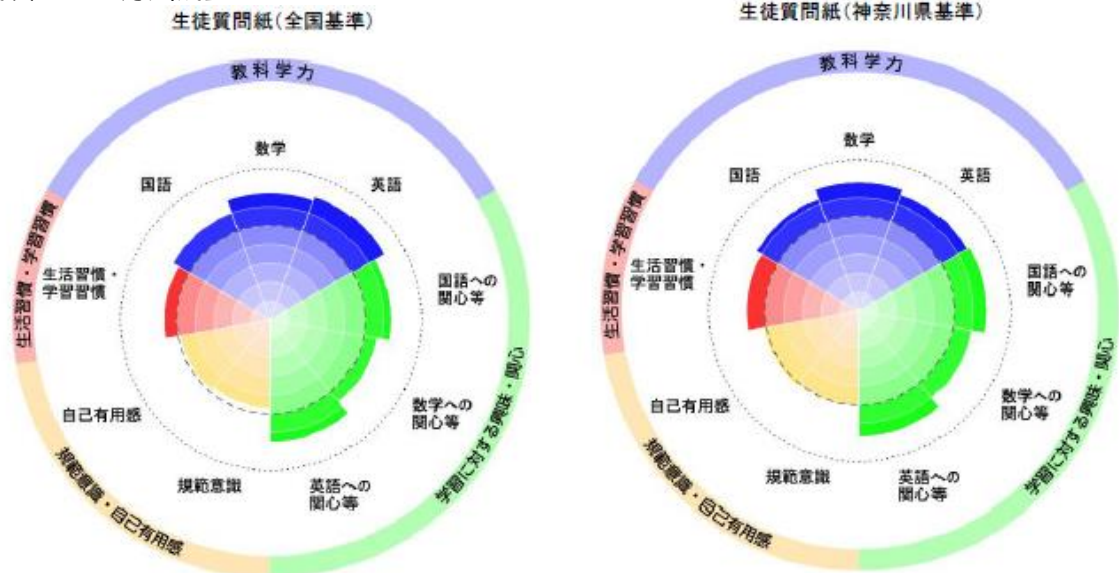
## 令和5年度 全国学力・学習状況調査

### 西本郷中学校の結果と分析

#### 1. 平均正答率 (%)

	国語	数学	英語
横浜市立西本郷中学校	77	66	63
神奈川県(公立)	70	52	50
全国(公立)	69.8	51	45.6

## 2. 生徒質問紙による意識調査



## 3. 分析

### ①学力について

国語	全国・神奈川の平均よりも高い正答率であった。特に「思考・判断」を問う問題に関する正答率が高かった。一方、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したり、正しい漢字を書いたりする問題に関しては全国平均を下回った。言葉の特徴を捉えたり、歴史的な言語文化に触れたりする機会を増やしたい。
数学	「知識・技能」は68%の正答率、「思考・判断・表現」は61%の正答率であった。また「図形」に関する正答率が5割を切り47.1%であった。演習問題を通して基礎基本を定着させながら、自ら考え、適切かどうかを判断し、実社会で自らの考えを表現する力を、授業を通して伸ばしていきたい。
英語	全国、神奈川の平均よりも高い正答率だった。その中でも「知識・技能」を問う問題に対しては正答率が高かった。領域別では、聞くことの正答率が最も高く、読むこと、書くこと、話すこと、と続いた。自分の考えなどを整理し、まとまりのある英文が書けるように、考えを整理してまとまった意見を英語で話せるように、授業でも引き続き努めたい。

### ②規範意識・自己有用感・学習習慣・生活習慣について

規範意識	昨年度、全国・神奈川の平均を下回っていた「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目は、今年度若干上回っている結果となった。「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目については、依然として全国・神奈川の平均を下回っていた。道徳の時間、キャリア教育などを通して、規範意識の向上につながる授業を実践していきたい。
自己有用感	「自分には、よいところがあると思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、の2項目について今年度は、全国・神奈川の平均より上回っている結果になっていた。「将来の夢や目標を持っていますか」については、昨年同様全国・神奈川の平均を下回っていた。日常的な学校生活をはじめ、道徳の時間などを通してさらに、自己有用感を高めていきたい。また、教員も生徒一人ひとりの個性を理解し、認め合い、高めていきたい。

## お知らせ

### 2学期始業式 8月28日(月)

1. 教育相談週間 8月28日(月)～9月5日(火)
2. 栄区横浜こども会議 8月31日(木)
3. 総合防災訓練 9月1日(金)
4. 授業参観、学級懇談会・2年生保護者対象進路説明会 9月12日(火)
5. 小中一貫授業研究・研修会 9月15日(金)
6. 区個別支援学級合同宿泊学習 9月18・19日 野島青少年研修センター
7. 2学期中間テスト 9月21・22日
8. PTA親の学び 9月22日(金) 10:00～12:00
9. 3年生英語検定 9月29日(金) 午後



# くすのき

横浜市立西本郷中学校  
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1  
Tel 045-892-1911

第6号 令和5年9月29日

## 「調整力」や「粘り強さ」の必要性

副校長 青木 美穂

今夏は、体温以上の高い気温が続き、夏休みが明けて9月に入っても、残暑厳しい日が続きました。この暑さの主因は、日本だけに限らず、偏西風の蛇行と熱帯地域における低気圧活動の影響の「合わせ技」だと指摘されています。しかしながら、長期的な温暖化も気温を底上げしているとも言われており、やはり、地球環境を懸念するばかりです。

さて、今年度も、西本郷中学校では、文科省が進めている「SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業」において、横浜市のESD推進校となり、カリキュラムデザインと連動させたESDを推進しています。9月においては、3年生がSDGsの視点から沖縄修学旅行を振り返り、『持続可能な沖縄』について、ポスターセッションを行いました。「現地で体験的に学んだこと」と「データ資料」等とを掛け合わせてグループで分析し、一人1台端末を活用してプレゼンデータにまとめました。作成時間も発表時間も限られおり、その制限の中で、分析結果を効果的に伝えるにはどのようなしたら良いか、仲間と相談しながら作り上げる学びの過程には「調整力」や「粘り強さ」が必須となります。他のグループの発表資料に刺激を受けて、「メタ認知」が働き、自分たちのグループの取組を客観的に把握して、修正し、精度を上げて立派でした。保護者や後輩の皆さんには10月の楠笑祭で展示発表する予定です。

ところで、今回、詩を1つ掲載させていただきました。「夏休み明けに登校した生徒が記した爽やかな詩だな」と感じるかと思います。しかし、実は、AI（人工知能）技術で作成したものなのです。「栄区」「西本郷中学校」「くすの木」というキーワードを使って中学生が作ったように詩を作成してほしいとAIに依頼したところ、数秒で回答があり、驚きました。少々、違和感のある所はありますが、やさしい語りかけもあり、心癒されるような詩になっています。

このようなAIなどの進化が今、数週間、数カ月単位で起こっています。世の中の動きがどんどん速くなっているので、変化を嫌がらないこと、変化する側に常に身を置くというメンタリティーが、重要になっていくと言われています。時代の変化に合わせて、つねに勉強していく姿勢がますます大切になっていると強く感じています。だからこそ、今、学校で重視し、注目して育成を目指している「調整力」や「粘り強さ」、「メタ認知」などの社会情動的コンピテンシーは、これからの未来を創る子どもたちには一層、必要な力だと改めて思うのです。生徒にとって学校が、わくわくしながら経験を積み重ねていける学習の場であるよう、今学期も努めてまいります。

栄区にある西本郷中学校

くすの木が優しく出迎えてくれる

「やあ、また来たね」と笑いかけてくれるように校庭に入ると、まぶしい太陽の光が照らし出す

教室に向かう前に、少し休憩する

そっと風が吹いている

横浜の風景が広がっているように

ささやかな幸せを味わえる



この中学校の周りには、たくさんの魅力がある駅前賑やかな商店街から、散策する公園まであらゆる場所で、横浜の魅力が詰まっている

# つながる、広げる、いじめの未然防止の輪！

～ 横浜子ども会議 栄区交流会 ～

校長 廣淵徹志

今年度の『横浜子ども会議』は、次の〈横浜子どもアクションプラン〉をもとに

## 〈 横浜子どもアクションプラン 〉

- 一人ひとりにできること 「自分からコミュニケーションをとり、相手と分かり合えるようにします」
- 学校でできること 「絆を強めるため、お互いの気持ちを伝える活動をします」
- まちの人とできること 「まちの人と関わるきっかけをつくります」

横浜子ども会議のテーマ

「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」  
～いじめをなくすために、一人ひとりができること～



に沿って、まずは7月11日（火）に西本郷中学校ブロック3校（西本郷小・笠間小・西本郷中）の代表が集まり、「いじめの未然防止」のために大切にしたいこと、ブロックとして取り組めそうなことや共通の活動などできそうなことについて協議をしました。

各中学校ブロックでの協議内容をもとに、8月31日（木）「横浜子ども会議栄区交流会」が栄区役所で開催されました。

桂台中代表の司会で、5番目に西本郷中ブロックの実践発表が行われました。



## 〈 各学校の取組 〉



### 【 西本郷中学校 】

- ・ Nisitter（意見箱）の設置 ・ あいさつ運動 ・ ピンクシャツデー、人権作文の取り組み

### 【 西本郷小学校 】

- ・ 仲良し班で他学年と交流 ・ あいさつ運動 ・ 「やさしいな」： 人のいいところを掲示

### 【 笠間小学校 】

- 「3つのあい」 = あいさつ 助け合い 認め合い
- ・ 全校集会「誰もが楽しい」 ・ あいさつ運動 ・ 巻き芯プロジェクト
- ・ スマイルレター： 頑張ったところ、良かったところ



## — 西本郷中ブロックの取組 —

### 〈 3校同時のあいさつ運動 〉

今年度も引き続き実施します！

各小学校の“あいさつ運動”に西本郷中学校の生徒会が参加します！

## 〈 西本郷中学校ブロックの大切にしたいこと、これから行えること 〉

### 【 大切にしたいこと 】

- ・ あいさつ運動
- ・ 意見を言える、聞いてもらえる環境づくり
- ・ 相談する
- ・ お互いのことを考える、信頼関係を築く

### 【 行えること 】

- ・ あいさつ運動
- ・ 意見箱の設置、話し合いの場
- ・ 他学年との交流



「互いの違いを認め合い、人を思いやる」  
その一歩として“互いに挨拶を交わそう！”

まずは「あいさつ」から  
「話しかけてみよう！～きっと仲間になれる～」



## 西本郷中 防災訓練

# “関東大震災” 発生100年！



9月1日は1923（大正12）年に発生し、大きな被害をもたらした関東大震災からちょうど100年にあたります。

当時の東京府、神奈川県など関東地方7府県で、計約10万5000人の死者・行方不明者が出たとされています。この大震災では、昼食時間帯の発生で煮炊きの火を使っていた家庭が多かったこともあり、人的被害のほとんどが火災によるものでした。また、人口が多く大火（火災旋風も含む）に見舞われた東京の方が犠牲者の数も多かったようですが、揺れの激しさや被害の深刻さは神奈川が酷かったとも言われています。

地震調査研究推進本部地震調査委員会によると、マグニチュード7クラスの首都直下地震が今後30年以内に起こる確率は70%になるそうです。極めて高い数値です。



＜ 『72時間』 生き残れ！ —72時間を生き抜く知恵— ＞  
72時間（丸3日）とは、国や自治体支援体制を構築する時間で、この時間はみんなへの支援物資が少なく、自力で生き抜く必要があります。  
いつ、どこで、どのような状況で地震が起こるかわからない！  
自宅？学校？通学途中？塾？歩いている時？自転車？電車？  
夏？冬？朝方？午前中？昼食時？夕方？夜？就寝時？雨？など

## ＜ 生き残るための『72時間』 — 大災害から身を守るには — ＞

### ○ 日頃からの備えが必要である！

自宅で避難生活を送ることができるよう、備蓄品を揃えておく！

例えば、水： 1人1日3ℓ 3日分を家族の人数に合わせて備えておく！

※ いますぐ災害に備えるための「栄防災ノート」を参照し、揃えてみよう！

本校は“地域防災拠点”に指定されており、自宅で生活が送れなくなった人が避難する場所です。

### ○ まずは自分の身を守る！

自分の身を守ることができなければ、他を助けるともできない！自分の命があつてこそその「共助」である。

### ○ みんなで防災減災！

日頃から挨拶を行ったり、顔の見える関係づくりが大切です。いざという時に助け合える関係を築きましょう。

**自助** = 自分で自分を助けること  
**共助** = 家族、企業や地域コミュニティでともに助け合うこと  
**公助** = 行政による救助・支援のこと

### 【避難場所は2カ所以上を確認しておく！】

西本郷中学校区にはいたち川が流れ、「洪水浸水想定区域」に指定されている地域があります。大地震と風水害の時は危険を回避する必要があります。

### — 西本郷中学校地域防災拠点 —

防災訓練 9月3日（日）実施

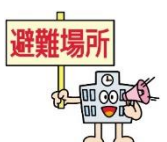
- 地域防災拠点の開設・運営について（DVD視聴）
- 講義（武内栄区地域防災担当係長）
- 意見交換・感想

地域防災拠点運営委員長 千葉廣衛

大規模地震が発生した時、現代には現代の弱点や課題があぶり出されることがあります！

“まだ来ない その考えが 命取り”

新聞やネットニュース等、様々な情報を手に入れることができます。



様々な視点からの防災について、ご家庭でも考えてみては如何でしょうか！

# 夏休み 地域ボランティア活動

## 笠間デイキャンプ 7月22日

小学4～6年生が6チームに分かれてヨーヨーづくりやスイカ割りなどの野外活動に挑戦しました。中学生は1年生3名、2年生1名、3年生1名が各チームのサブリーダーとして参加しました。

各チームのリーダーを担当した地域の方々からは、中学生について、「指示を待つのではなく、自ら考え行動してくれて助かりました。」

「自分も中学生になっても参加したい！と思った子がきつといるはずです。」

「また来年も一緒に活動したいです。」  
など、ありがたいお言葉をたくさんいただきました。



## ゆうわ館で水遊び 8月1・8日

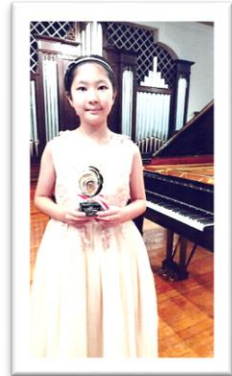
朝からとても暑い中、テントの設営、ビニールプールの空気入れの準備から始まり、赤ちゃんや幼児をお出迎えしました。楽しい時間を過ごせるようにと安全に気をつけながら見守り活動を行いました。休憩室では、まだ歩くことのできない小さな赤ちゃんを抱っこさせてもらっている生徒もいました。日頃なかなか赤ちゃんや幼児と接する機会もない生徒達も多いようでしたが、上手にあやしたり、優しく声かけしたりと積極的に行動する姿がとても頼もしかったです。貴重な体験ができたとともに、みんなの笑顔が絶えない素敵な時間を過ごすことができた様子でした。

しが 梨音さん (1年2組)

— アジア国際音楽コンクール ピアノ部門第3位 —

8月に東京で開催された「アジア国際音楽コンクール」ピアノ部門において、本校の滋賀梨音さんが出場しました。このコンクールではショパンとラフマニノフの楽曲を演奏し、見事3位となりました。

本人は、「世界に羽ばたくピアニストになれるよう精進したいと思います。」とさらなる今後の飛躍を語ってくれました。



## お知らせ

- |                         |           |        |
|-------------------------|-----------|--------|
| 1. 3年生 生徒・保護者対象進路説明会    | 10月 5日(木) | 14:45～ |
| 1年生 保護者対象自然教室説明会        |           | 16:00～ |
| 2. 第2回西本郷中ブロック学校運営協議会   | 10月12日(木) | 10:30～ |
| 3. 個別支援学級合同体育大会(三ツ沢競技場) | 10月18日(水) | 午後     |
| 4. 児童生徒交流日              | 10月25日(水) | 午後     |
| 5. ふれあいコンサート(本校体育館)     | 10月28日(土) | 10:00～ |
| 6. 楠笑祭 第1日目 合唱の部        | 10月30日(月) | 鎌倉芸術館  |
| 第2日目 展示・発表の部            | 31日(火)    | 本校     |

# くすのき

横浜市立西本郷中学校  
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1  
Tel 045-892-1911

第7号 令和5年10月27日

## 秋を感じる！日本の四季

校長 ひろ ぶち てつ し  
廣 渕 徹 志

今年（こよみ）は地球温暖化の影響もあって、非常に暑い日が続きました。暦（しゅうぶん）の上では、『秋分の日』が過ぎ、その暑い日々から秋を感じさせる季節（きせつ）となってきました。一年（いちねん）の中で昼と夜の長さが同じになる日が春と秋の2回あって、そのうちの“秋の方”を「秋分」と呼びます（厳密に言うと秋分は少しだけ昼の方が長いそうですが…）。秋分は簡単（かんたん）に言うと「秋を分ける」ということで、この日を境（さかい）に、暑い夏から涼しい秋へと変わり初め（はじ）め、夜の長さが長くなっていきます。



「秋」は涼しい季節（すず）と言うことで、「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」などとも呼ばれます。

秋にも七草（そん）があることはご存じでしょうか。七草と言えは、「春の七草」を連想（れんそう）される人が大半（たいはん）なのではないでしょうか。「春の七草」は、「芹（せり）」「薺（なずな）」「御形（ごぎょう）」「繁縷（はこべら）」「仏の座（ほとけざ）」「菘（すずな）」「蘿蔔（すずしろ）」の7種（ななくさがゆ）です。1月7日に七草粥（しちそうじゆ）を食（し）して1年の無病息災（むびょうそくさい）などを祈（いの）り、また正月料理（しんげつりょうり）で疲れた胃（つか）を休（い）めるものとして、その風習（ふうしゅう）が今でも続（つ）いています。

「秋の七草」は、万葉集（まんようしゅう）に収（おさ）められている「山上憶良（やまのうえのおくら）」の2首（しゅ）の歌（うた）が元（もと）になっています。

“秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花”

“萩の花 尾花 葛花 撫子（なでしこ）の花 女郎花（おんながはな）また藤袴（ふじばかま） 朝顔（あさがお）の花”

1首目（いっしゆめ）の歌（うた）は「秋の野に咲（い）ている草花（くさばな）を指折り（ゆびおり）数（かぞ）えると7種類（しちるい）ある」

2首目（にしゆめ）の歌（うた）は「それは萩（はぎ）の花（はな）、尾花（おぼな）（すずき）、葛（くず）の花（なでしこ）、撫子（おみなえし）の花（はな）、また藤袴（ふじばかま）、朝顔（あさがお）の花（はな）である」。ただし、「朝顔（あさがお）」は諸説（しよせつ）ありますが、現在（いま）では「桔梗（ききよう）」のこと（こと）だと言（い）われています。

このように「秋の七草」は、観賞（かんしょう）重視（じゆうし）と言（い）えます。野山（のやま）に咲（い）く美しい草花（かんしょう）を観賞（かんしょう）し季節（きせつ）を感じ（い）て慈（い）しむことが目的（もくてき）です。また、「秋の七草」は食用（しよくよう）ではないものの、薬草（やくそう）として漢方（かんぽう）や生薬（せいやく）に使（い）われてきた実用（じつよう）的な草花（ふく）が含ま（い）れています。



昔（むかし）の日本人（にほんじん）が四季（しき）折々（おりおり）に併（あ）わせて、心（こころ）や体（からだ）を癒（い）やす風習（ふうしゅう）を考（い）え、親（おや）しんできたこと（こと）は『先人（せんじん）達の知恵（ちえ）』と言（い）ってよいでしょう。

今（いま）の時代（じだい）、毎日（まいにち）何（なに）かにお追（お）われ、心（こころ）に余裕（よゆう）を持（も）てない人（ひと）達（たち）も多い（おほい）ように感じ（い）ます。秋（あき）の迎（むか）え、四季（しき）を感じ（い）る余裕（よゆう）を持（も）ち、目（め）や口（くち）から癒（い）してく（く）れる秋（あき）の風物詩（ふうぶつし）を感じ（い）たいもの（もの）です。



## 栄区中学校個別支援学級合同宿泊学習

横浜市野島青少年研修センターにおいて、9月18日（月）・19日（火）の一泊二日で栄区中学校個別支援学級合同宿泊学習を実施しました。4年ぶりの宿泊学習では事前の区交流会で準備をし、学校を超えて6グループによって、それぞれが目的を達成できるように行いました。

1日目は、「入所式」、伝言絵描きやジェスチャーゲーム等の「レクリエーション」、キャンドルファイヤーを囲んでの「夜のつどい」が行われ、2日目は、「朝のつどい」、「フォトラリー」、「退所式」等を行い、交流を深めました。

西本郷中学校の生徒も楽しみながら自分の役割を果たそうと一生懸命取り組んでいました。



野島青少年研修センター前



キャンドルファイヤー



野島山からの眺め

横浜市の最南部にある平潟湾の入口に浮かぶ、「野島」という島にある公園です。江戸後期に活躍した、浮世絵師歌川広重によって描かれた、『金沢八景』の中の『野島夕照<sup>のしまのせきしょう</sup>』（野島の漁師村に夕焼けが映えている様子を描いた錦<sup>にしきえ</sup>絵）で有名な地域です。

### 神奈川県中学校美術展

#### ”優良賞“ 三宅 桃花さん（3年1組）

第57回神奈川県中学校美術展において、三宅桃花さんの「本の喜び」が優良賞を受賞しました。

#### ～ 作者本人のこぼれ ～

下半分は本棚に入れられきちとした様子、上半分は本が開き、開放感のある様子を表しました。中心の点を通して下から入り、上に飛び出しているイメージで描きました。背景の色も黒と白で分け、場面や本の明暗の雰囲気表現しました。透視図法が活かされるよう本に厚みを持たせました。本の大きさや色の配置は全体のバランスが良くなるよう配置しました。立体感が出るように正面、側面、上下面の色の濃度を調節しました。純色に白や黒を加え過ぎると変化が出すぎてしまうため、加える量に気をつけました。



題名：本の喜び

## 地域ボランティア活動

10月8日（日）5年ぶりに『かさま・ふるさと秋まつり』が盛大に開催されました。

笠間小学校体育館での音楽会には、本校吹奏楽部がアンサンブルコンテストに出場する2グループの演奏と1・2年生全員で「日本愛唱歌集」「アンパンマンマーチ」等を演奏し、多くの観客を和ませてくれました。

また、校庭では本校の生徒ボランティアが「缶倒し」の受付などを行い、まつり運営に一役買っていました。



吹奏楽部の演奏



缶倒しの受付

スローガン 『 気炎万丈 ～勝利に向けて心を燃やせ～ 』

昨年度に続き、2日間4ブロックに分けて『第62回横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同体育祭』が三ツ沢競技場で盛大に開催されました。

本校は10月18日（水）Bブロック（午後）に参加し、6組の生徒は日頃の練習の成果を十分発揮しようと頑張っていました。

【 出場種目 】

参加生徒	競技種目	
浅見 優奈	走り幅跳び	50m走
佐藤 樹	ハンドボール投げ	50m走
吉田 海翔	ハンドボール投げ	50m走
北村 文菜	ハンドボール投げ	50m走
鈴木 大翔	ハンドボール投げ	100m走



応援席での集合写真

3年生の100m走とハンドボール投げ

「地域・学校協働本部」より、こんにちは！

学校・地域コーディネーター 松本 多貴子

漢字がたくさん並び、とてもかたい印象ですが、身近なところでコツコツと活動しています。学校では火曜と金曜の「学習会」、月2回の「アートプロジェクト」、地域での「中学生ボランティア活動」のお手伝いを主にしています。

生徒の皆さんの豊かな成長のために、学校と一緒に考え、話し合い、地域との架け橋となるよう学校地域コーディネーター6名が、現在活動しています。

3年間で心身ともに著しく成長する中学生という時期に、自ら「やってみよう」といろいろなことに挑戦する姿に、こちらもたくさんのエネルギーとパワーをいただいています。

1階自販機前の掲示板をチェックしてみてください。皆様のご参加お待ちしております。



学校

学校のニーズ



地域

地域の思い

アンテナ

※学校・地域コーディネーター

※ 学校と地域をつなぎ、架け橋となる方で、地域や学校の状況に応じて、地域と学校が協働できる仕組みづくりを進める役割を担います。

コーディネーター紹介

森 信康・森 順子  
 工藤 隆江・本田 美茶  
 山本 明美・松本多貴子  
 ～ 子どもが西本中の卒業生  
 である元保護者6名です ～



## 第2回学校運営協議会 アンケートより



10月12日(木)に「第2回西本郷中学校ブロック学校運営協議会」を開催しました。今回は本会長の田中健次様や本副会長の指田弘様をはじめ、協議会委員の方々に西本郷中学校の授業を参観していただき、学校給食も試食していただいた後、テーマ別分科会に分かれて協議を行いました。

### <地域部会： 連合町内会自治会代表と中学校校長 >

地域行事などを通して、子ども達が地域の方と顔の見える関係ができるとよいと考える。しかしながら、中学生は複数の活動を掛け持ち、ゆとりのない状態である。また、アンケートで「人の役に立ちたい」と考えている様子であり、今後、実際の行動に結びつくよう支援していきたい。子ども達はこれから課題解決能力を育み、「どう生きるか？」について考えることが必要だ。

### <学習支援部会： 学校・地域コーディネーターと鎌倉女子大学教授 >

子ども達は、ひとり一人思いがあるけれども行動に結びつかないこともある。それは、子ども本人だけの話ではない。社会の課題が子どもたちに現れている。個々の背景は、それぞれ異なるので、大人が子どもたちの実態をとらえて応援し、子ども達の思いを支えていければと思う。



### <幼保小部会： 主任児童委員と杜ちやいんど園園長と小学校校長 >

話題が広がり、コロナの影響が大きいということが分かった。コロナで子ども達だけでなく、保護者同士も繋がりが薄くなった。保護者は繋がるきっかけを待っており、キーワードで繋がればネットワークとなる。苦情に対しては、地域の方に子どもの顔を知ってもらうことが大切。

## 西本郷中学校 体育活動優秀生徒

11月8日(水)に「令和5年度横浜市中学校総合体育大会閉会式」が横浜武道館で開催され、今年度各中学校男女1名ずつ選出された体育活動優秀生徒が表彰され、メダルが授与される予定です。

男子：原田 悠人さん(3-4)      女子：鈴木 桃さん(3-3)

### ～ 体育活動優秀生徒とは？ ～

日頃の体育活動(体育の授業や学校行事、部活動など)に一生懸命に取り組み成果を上げた生徒が選ばれます。技能面だけでなく、日頃の学校生活を大切に努力したことも評価されました。

## お知らせ

- |                                     |   |  |
|-------------------------------------|---|--|
| 1. 3年生      個人面談<br>1・2年生      教育相談 | 11月1・2・6・7日   |  |
| 2. PTA学校給食試食会(本校体育館)                | 11月 6日(月)   |  |
| 3. 2学期期末試験                          | 11月15日(水)      国・理・技家<br>16日(木)      数・英・音(3年)<br>17日(金)      社・保体・学活 |  |
| 4. 学校保健委員会                          | 11月29日(水)      14:55~15:50  |  |
| 5. 避難訓練                             | 11月30日(木)   |  |



# くすのき

横浜市立西本郷中学校  
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1  
Tel 045-892-1911

第8号 令和5年11月24日

## 第11回 楠笑祭

校長 廣 渕 徹 志

### ～ おこのみやき ～



今年度は4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響のない、全校生徒による『楠笑祭』が30・31日両日で開催されました。

今年度のスローガンは2年1組工藤小晴さんが考えてくれた『おこのみやき』になりました。これは、具材によって味が変わる「お好み焼き」、全クラスそれぞれの良さがあって、一人ひとりの声が混ざることによって一体感が出るという意味です。また、



- 「お」は、おかわり（何度も聞きたくなる合唱）
- 「こ」は、個性
- 「の」は、濃厚な（思い出、印象に残る）
- 「み」は、実る（努力して良い結果が来る）
- 「や」は、やる気
- 「き」は、協力

を含んでいます。楠笑祭実行委員の目標『たこやき』と共通して同じ粉ものということで掛けています。

1日目は鎌倉芸術館での「合唱の部」が行われ、1年生から3年生という順に各クラスが発表をし、最後は全校で“ふるさと”を合唱しました。今年度は保護者の方々だけではなく、学校運営協議会委員の方々にもご来場いただき、生徒の歌声、合唱を聴いていただきました。

西本郷中学校ブロックでは、「コミュニケーション能力を高め、主体的に『まち』で生きる子ども」を小中9年間で育てようと様々な取組を行っています。小菅ヶ谷・笠間、さらには栄区・横浜市という自分たちの生まれ育った『まち』（ふるさと）を愛し、担う人に成長してくれたらという願いがあり、子どもたちにその思いが育まれることを期待しています。

東日本大震災の後、「ふるさと」が涙ながらに合唱される光景をよく見かけました。そこには住み慣れたわが家へ一刻も早く帰りたいという被災した方々の願いが込められていました。この「ふるさと」の作詞は、高野辰之氏です。出身地長野県中野市（旧豊田村）の風景がモデルになっています。2年時に実施している自然教室の長野県戸狩（飯山市）のとなりになります。

2日目は本校での展示発表、ステージ発表を行いました。教科の学習成果や文化部の日頃の成果を展示・ステージという形で発表しました。

学校行事は、必要なコミュニケーションだったり、人とのつきあいかたなど、見えない所で、いろいろなものを学ぶことができ、その中でも生徒が主体的に活動し、互いにぶつかりあいながらも一人ひとりを信じてクラスが一つになり、一つの曲を奏でる。そこに感動や喜び、達成感を

味わうことができるのが合唱だと思ひます。

今年度のスローガン“おこのみやき”のもとで、開・閉祭式を含め、楠笑祭実行委員長（田中義樹くん）を中心に、実行委員が企画・運営を行い、素晴らしい「楠笑祭」を作り上げることができ、平成の時代から新たな西本中文化祭の歴史を継承し、その1ページを築いてくれたと思ひます。実行委員の生徒のみなさんには心からありがたいの言葉を贈りたいと思ひます。

## ～合唱の部～

### < 全校合唱・学年合唱 “ふるさと” >



	指揮者	伴奏者
1学年	力武千緒子	三好 望
2学年	小西 実里	松山 広夢
3学年	尾形 咲季	水谷 春音
全校	尾形 咲季	水谷 春音

兔追ひし彼の山 小鮒釣りし彼の川  
 夢は今も巡りて 忘れ難き故郷  
 如何にいます父母 恙無しや友がき  
 雨に風につけても 思ひ出ずる故郷  
 志を果たして いつの日にか歸らむ  
 山は青き故郷 水は清き故郷

#### < 1学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	4組	怪獣のバラード	阿部 波音	若林 希	ワクワクしたで賞
2	2組	Believe	寺田 美羽	滋賀 梨音	気持ちがこもっていたで賞
3	3組	涙をこえて	高原 麻央	伊藤 智帆	パワフルで賞
4	1組	変わらないもの	塚田 晴喜	鈴木 彩寧	心に残ったで賞

#### < 2学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	3組	あなたへ	木島 綾子	大澤 一稀	ハーモニー賞
2	4組	心の瞳	佐藤 遙	鈴木 香苗	心に残ったで賞
3	2組	地球星歌 ～笑顔のために～	大阪 穂果	松山 広夢	団結賞
4	1組	旅立ちの時 ～Asian Dream Song～	小西 実里	渡邊 光	プロ並みで賞

#### < 3学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	1組	いつまでも	石附 奈桜	水谷 春音	気持ちがこもっていたで賞
2	3組	信じる	服部 桜	松永 莉奈	迫力があつたで賞
3	2組	ほらね、	陣川 瑠奈	橋本瑠利子	プロ並みで賞
4	4組	聞こえる	丸井嶺太郎	加藤 亮祐	胸キュンで賞

### < 全校合唱 ♪ ふるさと ♪ >

校長 廣淵徹志

今年度の楠笑祭合唱の部では、“ふるさと”を全校・学年で歌いました。西本郷中ブロックでは小・中9年間で育てる子ども像を『コミュニケーション能力を高め、主体的に「まち」で生きる子ども』としています。子どもたちがやがて未来を担う世代になった時、いかに地域づくりで貢献できる人になってくれるか。「ふるさと」を思う気持ちをもてるか。この小菅ヶ谷・笠間地区のみなさんも様々な面で支援してくださっています。

特に最後の全校合唱で、この“ふるさと”を来賓の学校運営協議会や保護者の方々が聴いて、非常に感動したとの感想をいただきました。校長の私自身も胸にジーンとこみ上げ、生まれ育った北海道の風景が思い起こされました。



## ～ 3年生 合唱 ～



3年1組 いつまでも



3年2組 ほらね、



3年3組 信じる



3年4組 聞こえる



### 《 講 評 》

音楽科 米田先生

学校生活での様々な制限が緩和され、今年もこうやって盛大に楠笑祭が開催でき、うれしく思っています。マスクの着用も自由となり、練習や本番も、人との距離をとることなく、お互いの声を聴きあいながら行う合唱は、本当に素晴らしいものであるように感じています。講評ということで、私からは学年ごとに、合唱の発表を聴いて感じたことをお話します。

まず1年生のみなさん、中学校に入学して初めての合唱はどうでしたか？広い客席、明るい照明、たくさんの観客…。きっといつもとは違う緊張感を味わったことと思います。しかし、その中で一生懸命声を出して歌っている姿がとても印象的でした。全体的に元気いっぱいの演奏で、聞いているこちらにも元気をもらえる、そんな合唱でした。ぜひ来年、再来年は先輩方のような素晴らしい合唱を作り上げられるよう、表現に磨きをかけていきましょう。これからの成長に期待しています。

2年生のみなさん、まずは「ふるさと」の学年合唱から元気いっぱいの演奏を披露してくれて、とても頼もしさを感じました。昨年度みなさんに「とにかく元気ががんばろう！」という気持ちが強くあり、どのクラスも一生懸命、元気いっぱいに歌っている姿がとてもすてきでした」とお伝えしましたが、昨年度からさらにパワーアップしたみなさんの歌声に感動しました。各クラスの合唱曲も、表現力が増し、聴き応えのある素晴らしい合唱でした。来年度はいよいよ最上級生となり、さらにすてきで、素晴らしい合唱を聴かせてくれることを楽しみにしています。



3年生のみなさんは、とにかく「素晴らしい」の一言です。1年生のときのみなさんの歌声を思い返し、声の成長を実感しました。大人の声になりつつあるみなさんの歌声は、1・2年生に大きな影響を与えてくれました。どのクラスも気持ちがこもっていて、自分たちが選んだ歌を、心を込めて一生懸命歌っている姿にとっても感動しました。人数が少ないクラスもありましたが、それを感じさせない、最上級生としての立派な姿を見せてくれました。みなさんの気持ちがこもった歌声は、多くの人の心を動かす、素晴らしいものでした。ぜひ、この経験や思い出が今後のみなさんの生活に活かされていくことを願っています。

最後に、今年度の楠笑祭を成功に導いてくれた実行委員の皆さんへ、大きな感謝を伝えたいと思います。会場準備等を始めとして、楠笑祭の運営を担い、一生懸命自らの仕事に取り組む姿がとても立派でした。

そして、昨年度も伝えたことですが、縁があって同じクラスになった仲間と、縁があって出会えた楽曲を作り上げる中で、たくさんのかげがえのない思い出が生まれたと思います。音楽は「時間芸術」であり、今日この場で作った音楽は、二度と同じものは生まれません。合唱までの練習も含め、仲間とともに取り組んできたこの日々を大切にして、今後の学校生活を大切に、送ってもらいたいと思います。

今年もみなさんの気持ちがこもった、一生懸命な合唱に、たくさん心を動かされました。みなさんの今までの練習の成果が発揮された、素晴らしい音楽を聴かせていただき、本当にありがとうございました！



## 楠笑祭実行委員長の言葉

楠笑祭実行委員長 田中義樹さん（3-3）

皆さん、先日は楠笑祭おつかれさまでした。

今年は新型コロナウイルスの影響を受けることなく、昨年度よりも拡大した状態で合唱の部・展示の部・発表の部と、大きな制限もなく楠笑祭が実施できました。生徒の皆さんや先生方、そして実行委員の協力のおかげで、大きなトラブルもなく、無事に楠笑祭を終えることができたと思っています。本当にありがとうございました。

合唱の部では、クラスや学年が一体となって作り上げた合唱曲の発表や鑑賞の楽しさ、展示の部では、一人ひとりが日頃の学習等の成果を発揮し、それを展示物として鑑賞する学びが、発表の部では、部活動やスピーチの発表、合唱の表彰など、楠笑祭を通しての喜びがあったかと思います。今年は「おこのみやき」というスローガンの名の下で楠笑祭をむかえ、多くの経験や体験をしたと思います。それらを思い出として残し、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

最後になりますが、私自身も委員長という大きな責任がある立場の中で初めての経験やプレッシャーもありましたが、皆さんに支えられ、温かく見守っていただいたおかげで最後までやり遂げることができました。私はこれが最後の楠笑祭となりますが、後輩のみなさんにはぜひ、この素晴らしい伝統を受け継いでほしいと思います。本当にありがとうございました。



## ☆ 展示発表 ☆



### 社 会 科

3年戦争と平和の本を読んだ

2年沖縄本紹介カード

1年アジア・アフリカード



### 美 術 科

### 6組各教科発表

### 修学旅行 SDGs 3年事後学習



### 国 語 科



### 理 科

### 図書委員会





# ふれあいコンサート

復活!



西本郷中学校で開催されていた『ふれあいコンサート』が10月28日(土)に復活しました。

中学校・高等学校・大学・地域(P T A)と世代を超え、音楽を通して「秋」を感じていただきました。

音楽は人の心を和ませ、前向きに生きようとする力を与えてくれます。音楽療法につきましては、教育はもとより医療や福祉などさまざまな分野において活用され、そのニーズも近年急速に高まっており多くの効果が期待されています。

近年、短く感じるようになった「秋」を感じながら、西本郷中学校・柏陽高等学校・鎌倉女子大学・地域の方々の演奏・合唱を、多くの方々に楽しんでいただきました。当日は121人の観客が来場し、出演者・運営に携わっていただいたP T Aや地域コーディネーターを合わせると134名に参加いただきました。

今年度の反省を生かしながら、来年度はさらに地域に愛される「ふれあいコンサート」にして行きたいと思えます。

また、鎌倉女子大学シルフィード・アンサンブルや Kasama カンタービレ、ときめけ!かさまビックリファミリーバンドの活動、西本郷中学校・県立柏陽高校の吹奏楽部の定期演奏会等に足を運んでいただければ、幸いです。

Kasama カンタービレ



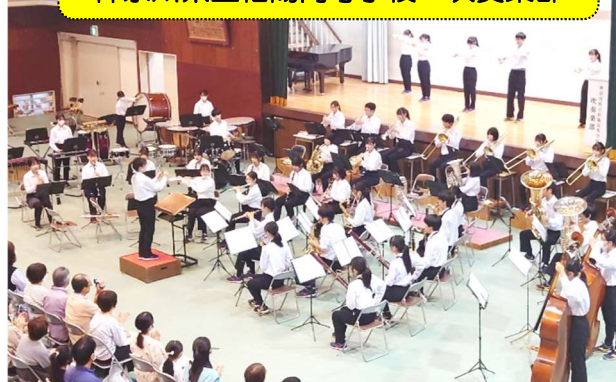
ときめけ!かさまビックリファミリーバンド



鎌倉女子大学 シルフィード・アンサンブル



神奈川県立柏陽高等学校 吹奏楽部



西本郷中 吹奏楽部



## 中学生の「税についての作文」

“栄区長賞” 深井 颯真さん (3年1組)

今年度の中学生の「税についての作文」(全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催)において、深井颯真さんの『税で守られた命』が栄区長賞を受賞しました。11月17日(金)に戸塚区役所において令和5年度納税表彰式に参加しました。

尚、入選作品は、各地区の「全納連ニュース」等に掲載されます。

# 人権週間・障害者週間といじめ防止啓発月間

## 人権週間



12月10日は1948年に国連総会で世界人権宣言が採択された日です。この日を『人権デー』としています。さらに日本においては、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。

人権尊重とは、“そばにいる人を大切にすること” そのためには、“相手の立場に立って考える”、“相手の話をしっかり聞く”、そして、“自分の考えをしっかりと言う”ことです。社会は高齢化の時代を迎えています。どうせ生きるのなら、人の役に立つ生き方を……。鏡の前に立って、**自分を知る、自分を振り返ること**から始めてみてはどうでしょう！

## 障害者週間



1975年12月9日に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択され、その後、12月3日を「国際障害者デー」と宣言されました。日本では12月9日を「障害者の日」とし、「国際障害者デー」の12月3日から「障害者の日」の9日までを「障害者週間」として定めています。

私たちは、障害の有無にかかわらず、**誰もが皆、住み慣れた地域で「あたりまえの暮らし」**ができるようにしていきたいですね。

## いじめ防止啓発月間

横浜市では横浜市いじめ防止基本方針に基づき、児童生徒をいじめから守り、社会全体でいじめ防止に取り組むため、12月を「横浜市いじめ防止啓発月間」とし、全市的にいじめ防止の啓発を図っています。

- いじめ防止啓発ポスターの掲示
- 市営地下鉄の車内中吊り広告
- 「いじめ防止市民フォーラム」の開催

12月1日（金）14:00～15:35（受付13:30）横浜市役所1階 アトリウム  
< テーマ >

「オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪」  
～ いじめをなくすために、私ができること ～

学校生活や日常生活の中で、またふとしたことから言葉のはき違えや誤解、また、相手に対して自分は冗談のつもり、ちょっとしたからかい、いたずらなどから相手を傷つけたり、「いじめ」に発展したりすることが多いように思えます。一人ひとりを尊重するというベースの心を持って、さらにお互いに理解するためにコミュニケーション（顔と顔を合わせた）を大切にすることです。「誰もが安心して生活できる学校」にしましょう！

## お知らせ

- |                         |      |           |
|-------------------------|------|-----------|
| 1. 全学年                  | 個人面談 | 12月5～8日   |
| 2. 第3回学校運営協議会（西本郷小・笠間小） |      | 12月13日（水） |
| 3. 生徒会役員選挙・投票           |      | 12月15日（金） |
| 4. 学習相談                 |      | 12月18日（月） |
| 5. 大掃除                  |      | 12月22日（金） |
| 6. 2学期終業式               |      | 12月25日（月） |

